【日本ハム食品株式会社　健康経営戦略マップ】

健康投資→施策実施や制度導入

ハイリスク者への支援

- メンタルヘルス不調休職者の復帰時のフローなどの確立
  また各部門と共同しての復職支援体制の整備
- 高ストレス者対応フロー確立と保健師からのアプローチ強化
- 健康意識の低い人への所属長・健保などと協力してサポート体制の確立
- 要医療者（治療中・精密検査・再検査）へのアプローチ強化

健康維持・増進のための支援

「健康づくりの３要素」に関する施策（運動、栄養・食生活、休養）

- ・食堂の活動や掲示物での周知
- ・全体朝礼を通じた健康意識を高める活動の実施
- ・スポーツジムの活用推進
- ・ウォーキングイベントの活性化

- 特定保健指導の強化
- 管理職向けラインケア教育の継続的な実施
- ヘルスリテラシー向上のための取り組み強化（教育・イベント）
- 禁煙したい人を応援する施策・制度の検討
  スマート×スモーキングの実施

働きやすい職場環境の構築

- 職場環境改善活動の推進
- 労働安全衛生活動の推進
- 両立支援（育児・介護・治療）制度の拡充と周知徹底
- 多様な労働者（年齢、性別、雇用形態、国籍）への対応

健康投資効果

健康投資施策の取組状況に関する指標

- 休職者に対しての復職支援体制確立やマニュアル整備
- 高ストレス者アプローチ率の向上
- 健康意識の低い人へのアプローチ率の向上
- 医療機関受診率の向上
- **再検査受診率の向上**
- 適切な食事習慣を持つ人の割合の向上
- 週2回、1回30分以上の運動を実施している人の割合の向上
- 睡眠で十分な休養が取れている人の割合の向上
- たんぱく質に関する理解度の向上
- 特定保健指導の対象者率の低下
  参加者率の向上
- 管理職の教育参加率向上
- 全従業員への教育カバー率の向上
- **喫煙率の低下**
- 職場環境スコアの改善
  （温度、湿度、騒音、照明等）
- 労働災害指標の低減
- 作業環境・作業姿勢等が要因となる疾病の発生件数の減少
- 制度認知・利用率の向上
- **従業員満足度の向上**

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

- 再休職件数の低下
- 高ストレス者率の低下
- 管理不良者率の低下
- 要医療者率の低下
- 適正体重維持率の向上
- 「疲労感」の平均点低下
- 「身体愁訴」の平均点低下
- ストレスチェックの個人評価について、ストレスの程度が「**高い**」および「**やや高い**」の割合の減少
- 総合健康リスクの改善
- 事業場資源の平均点向上

健康関連の最終的な目標指標

- アブセンティーズム
  - 傷病休職者率
- プレゼンティーズム
  - SPQ（東大１項目版）
- ワーク・エンゲイジメント
  - ストレスチェック

健康経営で解決したい経営課題

生産性を向上し、供給責任を果たす

休職の防止や業務効率低下を防止することで、生産性向上を図る、そしてたんぱく質の安定供給に寄与する

挑戦する組織風土の醸成

従業員一人ひとりが主体性に、変革に向かって挑戦し続けることのできる組織風土の醸成に貢献する
従業員自らが「健康の喜び」を体現する

多様性の尊重

すべての人々の価値観を尊重し認め合うことで、より豊かな組織風土を築き、それぞれの個性を生かしながら安心して働き続けられる環境の構築

・・・KPI指標